



第一回パネル 会議報告書

平成 27 年 8 月 22 日
10 時～12 時
西岡公園管理事務所

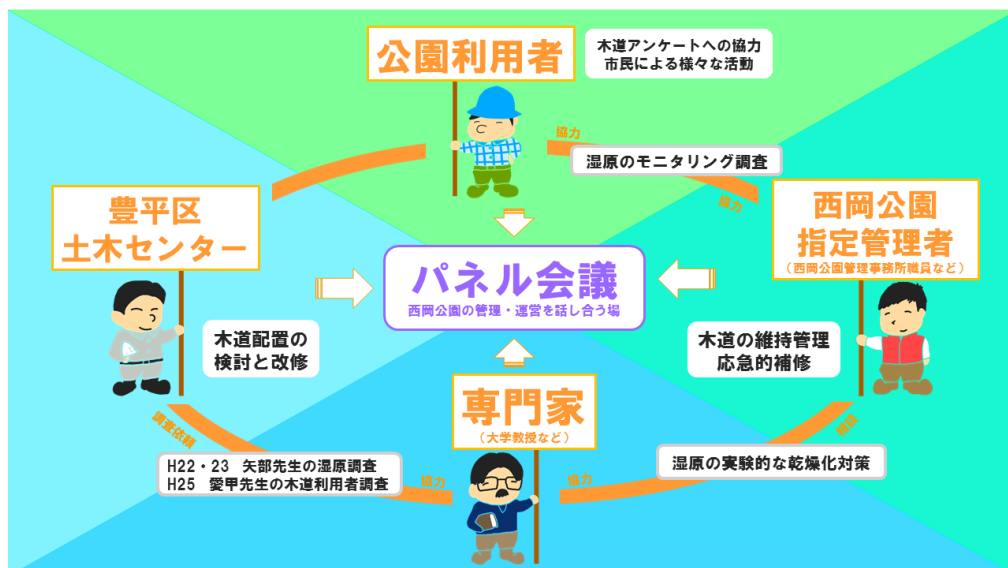
*** 議題 ***

1. 湿原乾燥化対策に向けた今年度の取り組みについて（指定管理者）
2. 木道の配置に関する検討について（豊平区土木センター）
3. 旧管理事務所解体のスケジュール（豊平区土木センター）
4. ボランティア団体からの報告

パネルとは？

西岡自然パネルは、平成 12 年に発足した、西岡公園の維持管理について、行政と市民が話し合う場、行政とコミュニケーションを図る場として個人・団体に開かれた話し合いの場である。またパネルの場で解決できない大きな問題は、専門家の意見や調査結果に基づいて、ワークショップなどを実施して方針を決定するような進め方をしている。パネルとは「討論する場」を意味しており、毎年定期的にパネル会議を開催し、様々な議題について話し合いを続けている。

また、平成 19 年には、西岡公園の基本的な考え方を明確にした「西岡公園の管理運営にかかわる提言」を作り、市に承認された。



今回のパネル会議の参加団体 (順不同)

西岡の自然を語る会、
森の工作、ガイドボランティア、
遊木森森、植物の会、西岡マダム、
ニハルクラブ、南陵高校、
札幌市豊平区土木部、
西岡公園指定管理者（公財）札幌
市公園緑化協会 ほか

計 21 名

1. 湿原乾燥化対策に向けた今年度の取り組み

① 木道流路への土嚢設置

平成 22 年、23 年度に矢部和夫教授（札幌市立大学）が行った調査において、網状流として湿原表面全体を流れていた水が、木道下にできた川に集まってしまい、川が深く掘りこまれて湿原表面の乾燥化が進んだことが判明した。その対策として、湿原内部へ流路の水を拡散させるため東側木道流路の下に 2 箇所ポイントを定めて土嚢を設置する。

- ・作業時期：9 月中旬平日
- ・作業場所：東側木道
- ・作業内容：川の水が拡散するように木道下に土嚢を積む。土嚢が流れないように木杭を打つ。



* 報告を受けて出された意見（抜粋）

- ・自然の地形のところに水を流して、道がつくところを想定するのはかなり難しい。やってみてどうなるのか試しをしてみたらよい。
- ・今回は非常に小規模であり簡便な方法だが、1 回やって検証してみることが大切。
- ・作業が無駄にならないように、よく検討した上でやったほうが良い。
- ・水文学の専門家に調査や手法について意見を聞いてはどうか。
- ・土嚢に使用する土は堰から人為的に掘った土を使用してはどうか。また、誘導したいところに掘り込みを入れるのはどうか。
- ・土嚢の中身は河川堆積物のようなミネラル中心の土が良い。

- ・西岡の湿原はミネラルが多いところにできるフェンという植生なので、土嚢の中身はそれほど気にすることはしないのではないかな。
- ・ブロックにしたほうが何かあったときに回収しやすいのではないかな。

* 意見を受けて *

土嚢の中身については、園内から採集したミネラル中心の土を使うことに重点を置き再考する。作業は予定通り 9 月中旬に実施する予定。

② ヤナギ林の一部除伐

平成 26 年度は、水源池と見晴台の間に繁茂するヤナギ林を伐採した。今年度も継続して、段階的にヤナギ林を伐採する予定となっている。その後も、群落や外来種の侵入の様子を見ながら経年で作業を続けていき、切ったヤナギはチップ化し、園路や林床に散布する予定となっている。



平成 27 年 3 月 25 日伐採

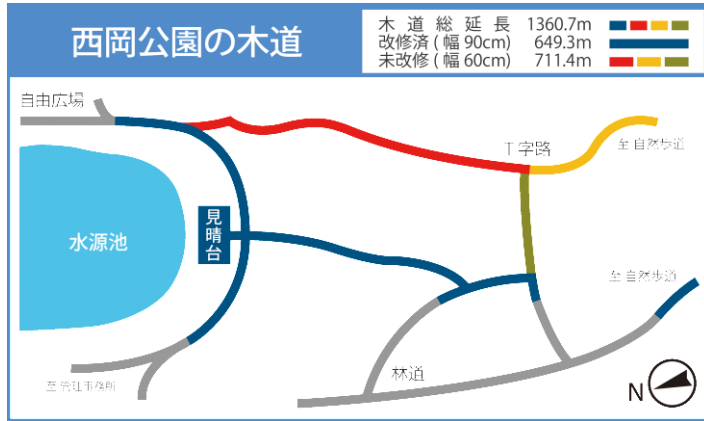
2. 木道の配置に関する検討について

木道は老朽化と、木道下での流路の形成による湿地の乾燥化を招いている。現在の流路を調整する試みなどを通じて、網目状の流路の回復を進めたい。予算の確保が難しい中で、湿原の保全と観察のバランスにどのように配慮していくのかを検討するにあたり、案 1～3 を提示し、最終的に案 3 へ行きつくようにしたい。

案 1：現状の木道を補修しながら利用を継続

案 2：乾燥化の原因となっている部分の木道を早急に撤去する。

案 3：新たな木道の設置を急ぐ。



*** 提案を受けて出された意見 (抜粋)**

- ・素人目に見ても木道の基礎が相当痛んでいる。現状の木道の補修をしつつ、早急に新設の検討に入るべきだ。
- ・木道の土台があれだけひどいとケガをする場合もありえる。
- ・木道の配置を変えるなら、湿原の維持の可能性が高い東側(高台)に動かしてはどうか。
- ・将来的には南北ではなく、東西の軸を中心とした木道の配置が良いのではないかな。
- ・木道を封鎖・撤去すると勝手に藪の中へ入っていく人が出る可能性がある。
- ・東側の木道を撤去したときに周回式木道の設置についても検討してみてもどうか。
- ・湿原を無くさないということをいつも頭に考えてほしい。そのために木道の部分的な撤去は必要だと思う。
- ・補修や撤去が望ましい部分はどれくらいあるのか明示してほしい。
- ・木道すべてを同じウェイトで考えずに、身障者用のルートや学術調査用のルートなど目的別に分けてみてはどうか。
- ・東側の木道はトンボをよく見かけるので、いきなり撤去となるのは悲しい。

*** 意見を受けて ***

木道の配置に関しては改めて検討する場を設ける予定。
現状の東側木道は、支柱自体が傷んでいるものもあり、天板のみの補修では利用に支障をきたすおそれもあるため、今後は支柱を含めた補修の実施を検討する。

3. 旧管理事務所解体のスケジュール

10月下旬から1か月半ほどで旧管理事務所の解体を予定しており、解体は倉庫を残した事務所部分のみとする。解体後は碎石敷きの敷均しとし、フラットな状態となる。出入口は緩い勾配で仕上げる。旧管理事務所の裏が丸見えとなり、人の出入りが容易になるので、立ち入りを禁止するような措置を取る。工期中は現在の公園の利用に支障が無いようにする。

*** 報告を受けて出された意見 (抜粋)**

- ・新しい管理事務所を建てる時に、倉庫を作る計画があったが延期のままなのだろうか。
- ・外構の工事はどうなったのだろうか。
- ・ボランティアからの要望として、花壇の整備時期がいつか明示してほしい。

*** 意見を受けて ***

倉庫をはじめ、外構の工事の計画は継続中であるが、他公園の整備もあるので遅れることもある。花壇の整備は来春に測量を予定しているので来夏以降になる予定。

4. ボランティア団体からの報告

- ・8月26日に、植物の会やガイドボランティアが今年度も、特定外来生物であるオオハンゴンソウの防除を行う予定。毎年継続して抜き取ることで、少しずつ数も減ってきている。
- ・指定管理者の自主事業である「西岡ヤンマ団」が全国で100以上の団体が応募する「コカ・コーラ環境教育賞」で優秀賞(10団体)を受賞した。頂いた活動支援金は、公園の活動に活かすよう予定している。